

◎使用済燃料管理及び放射性廃棄物管理の安全に関する条約

(略称) 放射性廃棄物等安全条約

平成 九年 九月 五日 ウィーンで作成
平成 十三年 六月 十八日 効力発生
平成 十五年 六月 十一日 国会承認
平成 十五年 八月 二十六日 加入の閣議決定
平成 十五年 八月 二十六日 加入書寄託
平成 十五年 九月 五日 公布(条約第五号)
平成 十五年 九月 五日 告示(外務省告示第三二四号)
平成 十五年十一月二十四日 我が国について効力発生

目次

ページ

前文.....

第一章 目的、定義及び適用範囲.....

第一条 目的.....

第二条 定義.....

第三条 適用範囲.....

第二章 使用済燃料管理の安全.....

第四条 安全に関する一般的な要件.....

第五条 既存の施設.....

放射性廃棄物等安全条約

第六	条	計画されている施設の立地
第七	条	施設の設計及び建設
第八	条	施設の安全に関する評価
第九	条	施設の使用
第十	条	使用済燃料の処分
第三	章	放射性廃棄物管理の安全
第十一	条	安全に関する一般的な要件
第十二	条	既存の施設及び過去の行為
第十三	条	計画されている施設の立地
第十四	条	施設の設計及び建設
第十五	条	施設の安全に関する評価
第十六	条	施設の使用
第十七	条	閉鎖後の制度的な措置
第四	章	安全に関する一般規定
第十八	条	実施のための措置
第十九	条	法令上の枠組み
第二十	条	規制機関
第二十一	条	許可を受けた者の責任
第二十二	条	人的資源及び財源
第二十三	条	品質保証
第二十四	条	使用に際しての放射線防護
第二十五	条	緊急事態のための準備

第二十六条	廃止措置
第五章	雑則
第二十七条	国境を越える移動
第二十八条	使用されなくなった密封線源
第六章	締約国の会合
第二十九条	準備会合
第三十条	検討会合
第三十一条	特別会合
第三十二条	報告
第三十三条	出席
第三十四条	概要についての報告
第三十五条	言語
第三十六条	秘密性
第三十七条	事務局
第七章	最終条項その他の規定
第三十八条	意見の相違の解決
第三十九条	署名、批准、受諾、承認及び加入
第四十条	効力発生
第四十一条	この条約の改正
第四十二条	廃棄
第四十三条	寄託者
第四十四条	正文

放射性廃棄物等安全条約

末
文
.....

前文

前文

締約国は、

- (i) 原子炉の運転が使用済燃料及び放射性廃棄物を発生させ並びに原子力技術をその他の方法で利用することとも放射性廃棄物を発生させることを認識し、
- (ii) 使用済燃料管理及び放射性廃棄物管理のいずれについても同様の安全の目的を達成すべきことを認識し、
- (iii) 使用済燃料管理及び放射性廃棄物管理の安全のために適正な措置が計画され及び実施されるべきことを確保することが国際社会にとって重要であることを再確認し、
- (iv) 使用済燃料管理及び放射性廃棄物管理の安全に関する問題について公衆に周知させることが重要であることを認識し、
- (v) 原子力安全文化を十分かつ世界的に醸成することを希望し、
- (vi) 使用済燃料管理及び放射性廃棄物管理の安全を確保する最終的な責任は国が負うべきことを再確認し、
- (vii) 燃料サイクル政策の定義はそれぞれの国が行うこと、すなわち、使用済燃料を再処理することができる有益な資源であると考える国もあれば、使用済燃料を処分することを選択する国もあることを認識し、
- (viii) 軍事上又は防衛上の施策において取り扱われていることを理由としてこの条約の適用から除外されている使用済燃料及び放射性廃棄物がこの条約に定める目的に従って管理されるべきであるべきことを認識し、

放射性廃棄物等安全条約

PREAMBLE

The Contracting Parties

- (i) Recognizing that the operation of nuclear reactors generates spent fuel and radioactive waste and that other applications of nuclear technologies also generate radioactive waste;
- (ii) Recognizing that the same safety objectives apply both to spent fuel and radioactive waste management;
- (iii) Reaffirming the importance to the international community of ensuring that sound practices are planned and implemented for the safety of spent fuel and radioactive waste management;
- (iv) Recognizing the importance of informing the public on issues regarding the safety of spent fuel and radioactive waste management;
- (v) Desiring to promote an effective nuclear safety culture worldwide;
- (vi) Reaffirming that the ultimate responsibility for ensuring the safety of spent fuel and radioactive waste management rests with the State;
- (vii) Recognizing that the definition of a fuel cycle policy rests with the State, some States considering spent fuel as a valuable resource that may be reprocessed, others electing to dispose of it;
- (viii) Recognizing that spent fuel and radioactive waste excluded from the present Convention because they are within military or defence programmes should be managed in accordance with the objectives stated in this Convention;

放射性廃棄物等安全条約

- (ix) 二国間及び多数国間の制度を通じ並びに各締約国の取組を奨励する(この条約を通じて使用済燃料管理及び放射性廃棄物管理の安全を向上させるに当たり、国際協力を行うことが重要である)ことを確認し、
- (x) 開発途上国(特に後発開発途上国)及び移行経済国のニーズに留意し、並びにこれらの国が各締約国の取組を奨励するこの条約に定める権利及び義務を履行することを支援する既存の制度の活用を促進することの必要性に留意し、
- (xi) 放射性廃棄物は、その管理の安全と両立する限り、それが発生した国において処分されるべきものであることを確信しつつ、特定の場合、特に放射性廃棄物が共同事業により発生する場合には、いずれかの締約国の施設をその他の締約国のために利用するという締約国間の合意によって、使用済燃料及び放射性廃棄物の安全かつ効率的な管理が助長され得ることを認識し、
- (xii) いかなる国も、外国の使用済燃料及び放射性廃棄物の自国の領域内への輸入を禁止する権利を有することを認識し、
- (xiii) 原子力の安全に関する条約(千九百九十四年)、原子力事故の早期通報に関する条約(千九百八十六年)、原子力事故又は放射線緊急事態の場合における援助に関する条約(千九百八十六年)、核物質の防護に関する条約(千九百八十年)、千九百九十四年に改正された廃棄物その他の物の投棄による海洋汚染の防止に関する条約その他関連する国際文書に留意し、
- (xiv) 「電離放射線に対する防護及び放射線源の安全のための国際基本安全基準」(千九百九十六年)、「放射性廃棄物管理の原則」という国際原子力機関の安全原則(千九百九十五年)及び放射性物質の輸送の安全に関する既存の国際基準に規定する諸原則に留意し、

- (ix) Affirming the importance of international co-operation in enhancing the safety of spent fuel and radioactive waste management through bilateral and multilateral mechanisms, and through this incentive Convention;
- (x) Mindful of the needs of developing countries, and in particular the least developed countries, and of States with economies in transition and of the need to facilitate existing mechanisms to assist in the fulfillment of their rights and obligations set out in this incentive Convention;
- (xi) Convinced that radioactive waste should, as far as is compatible with the safety of the management of such material, be disposed of in the State in which it was generated, whilst recognizing that, in certain circumstances, safe and efficient management of spent fuel and radioactive waste might be fostered through agreements among Contracting Parties to use facilities in one of them for the benefit of the other Parties, particularly where waste originates from joint projects;
- (xii) Recognizing that any State has the right to ban import into its territory of foreign spent fuel and radioactive waste;
- (xiii) Keeping in mind the Convention on Nuclear Safety (1994), the Convention on Early Notification of a Nuclear Accident (1986), the Convention on Assistance in the Case of a Nuclear Accident or Radiological Emergency (1986), the Convention on the Physical Protection of Nuclear Material (1980), the Convention on the Prevention of Marine Pollution by Dumping of Wastes and Other Matter as amended (1994) and other relevant international instruments;
- (xiv) Keeping in mind the principles contained in the interagency "International Basic Safety Standards for Protection against Ionizing Radiation and for the Safety of Radiation Sources" (1996), in the IAEA Safety Fundamentals entitled "The Principles of Radioactive Waste Management" (1995), and in the existing international standards relating to the safety of the transport of radioactive materials;

目的、定義及び適用範囲
目的

(xv) 千九百九十二年にリオデジャネイロにおける国際連合環境開発会議で採択されたアジェンダ二十一第二十二章において放射性廃棄物の安全なかつ環境上適正な管理が最も重要であることが再確認されたことを想起し、

(xvi) 有害廃棄物の国境を越える移動及びその処分の規制に関するバーゼル条約（千九百八十九年）第一条3に規定する放射性物質について特に適用される国際的な規制の制度を強化することが望ましいことを認識して、

次のとおり協定した。

第一章 目的、定義及び適用範囲

第一条 目的

この条約の目的は、次のとおりとする。

(i) 国内措置及び国際協力（適当な場合には、安全に関する技術協力を含む。）の拡充を通じ、使用済燃料管理及び放射性廃棄物管理の高い水準の安全を世界的に達成し及び維持すること。

(ii) 現在及び将来において電離放射線による有害な影響から個人、社会及び環境を保護するため、将来の世代の必要及び願望を満たすことを阻害することなく現在の世代の必要及び願望を満たすよう、使用済燃料管理及び放射性廃棄物管理のすべての段階において潜在的な危険に対する効果的な防護を確保すること。

放射性廃棄物等安全条約

(xv) Recalling Chapter 22 of Agenda 21 by the United Nations Conference on Environment and Development in Rio de Janeiro adopted in 1992, which reaffirms the paramount importance of the safe and environmentally sound management of radioactive waste;

(xvi) Recognizing the desirability of strengthening the international control system applying specifically to radioactive materials as referred to in Article 1(3) of the Basel Convention on the Control of Transboundary Movements of Hazardous Wastes and Their Disposal (1989);

Have agreed as follows:

CHAPTER 1. OBJECTIVES, DEFINITIONS AND SCOPE OF APPLICATION

ARTICLE 1. OBJECTIVES

The objectives of this Convention are:

(i) to achieve and maintain a high level of safety worldwide in spent fuel and radioactive waste management, through the enhancement of national measures and international co-operation, including where appropriate, safety-related technical co-operation;

(ii) to ensure that during all stages of spent fuel and radioactive waste management there are effective defenses against potential hazards so that individuals, society and the environment are protected from harmful effects of ionizing radiation, now and in the future, in such a way that the needs and aspirations of the present generation are met without compromising the ability of future generations to meet their needs and aspirations;

放射性廃棄物等安全条約

(iii) 使用済燃料管理及び放射性廃棄物管理のすべての段階において、放射線による影響を伴う事故を防止し、及び事故が発生した場合にはその影響を緩和すること。

第一条 定義

この条約の適用上、

- (a) 「閉鎖」とは、使用済燃料又は放射性廃棄物を処分施設に定置した後のすべての作業の完了をい
い、その作業には、当該施設を長期的に安全な状態にするために必要な最終工事その他の作業を含
む。
- (b) 「廃止措置」とは、原子力施設（処分施設を除く。）について規制上の管理を終止するためにとる
すべての措置をいう。これらの措置には、汚染の除去及び解体に伴う措置を含む。
- (c) 「排出」とは、規制された原子力施設から通常の使用の間に発生する液体状又は気体状の放射性物
質の環境への計画され、かつ、制御された放出であって、規制機関によって認められた限度内におい
て適法な行為として行われるものをいう。
- (d) 「処分」とは、使用済燃料又は放射性廃棄物を、再び取り出す意図を有する（こなく）適当な施設に
定置することをいう。
- (e) 「許可」とは、使用済燃料管理又は放射性廃棄物管理に関する活動を実施するために規制機関が与
える権利、承認又は証明をいう。
- (f) 「原子力施設」とは、民生用の施設並びにこれに関連する土地、建物及び設備であって、放射性物

(iii) to prevent accidents with radiological consequences and to mitigate their
consequences should they occur during any stage of spent fuel or radioactive waste
management.

ARTICLE 2. DEFINITIONS

For the purposes of this Convention:

- (a) "closure" means the completion of all operations at some time after the
emplacement of spent fuel or radioactive waste in a disposal facility. This includes
the final engineering or other work required to bring the facility to a condition that
will be safe in the long term;
- (b) "decommissioning" means all steps leading to the release of a nuclear facility, other
than a disposal facility, from regulatory control. These steps include the processes
of decontamination and dismantling;
- (c) "discharges" means planned and controlled releases into the environment, as a
legitimate practice, within limits authorized by the regulatory body, of liquid or
gaseous radioactive materials that originate from regulated nuclear facilities during
normal operation;
- (d) "disposal" means the emplacement of spent fuel or radioactive waste in an
appropriate facility without the intention of retrieval;
- (e) "licence" means any authorization, permission or certification granted by a
regulatory body to carry out any activity related to management of spent fuel or
of radioactive waste;
- (f) "nuclear facility" means a civilian facility and its associated land, buildings and

質が安全について考慮を要する規模で製造され、加工され、使用され、取り扱われ、貯蔵され又は処分されるものをいう。

(g) 「使用期間」とは、使用済燃料管理施設又は放射性廃棄物管理施設がその本来の目的のために使用される期間をいう。処分施設については、使用期間は、使用済燃料又は放射性廃棄物が当該施設に最初に定置された時に開始し、当該施設が閉鎖された時に終了する。

(h) 「放射性廃棄物」とは、気体状、液体状又は固体状の放射性物質であつて、更に使用されることについて締約国又は締約国が自然人若しくは法人の決定を受け入れる場合には当該自然人若しくは法人によって予定されておらず、かつ、締約国の法令上の枠組みの下で規制機関により放射性廃棄物として管理されているものをいう。

(i) 「放射性廃棄物管理」とは、放射性廃棄物の取扱い、前処理、処理、調整、貯蔵又は処分に関連するすべての活動（廃止措置に関する活動を含む。）をいい、排出を含み、敷地外の輸送を除く。

(j) 「放射性廃棄物管理施設」とは、放射性廃棄物管理を主たる目的とする施設又は設備をいい、締約国が放射性廃棄物管理施設として指定した場合にのみ、廃止措置の過程にある原子力施設を含む。

(k) 「規制機関」とは、使用済燃料管理及び放射性廃棄物管理の安全に関する側面を規制する法的権限（許可の付与を含む。）を締約国によって与えられた機関をいう。

(l) 「再処理」とは、更に使用するために使用済燃料から放射性同位元素を抽出することを目的とした工程又は作業をいう。

放射性廃棄物等安全条約

equipment in which radioactive materials are produced, processed, used, handled, stored or disposed of on such a scale that consideration of safety is required;

(g) "operating lifetime" means the period during which a spent fuel or a radioactive waste management facility is used for its intended purpose. In the case of a disposal facility, the period begins when spent fuel or radioactive waste is first emplaced in the facility and ends upon closure of the facility;

(h) "radioactive waste" means radioactive material in gaseous, liquid or solid form for which no further use is foreseen by the Contracting Party or by a natural or legal person whose decision is accepted by the Contracting Party, and which is controlled as radioactive waste by a regulatory body under the legislative and regulatory framework of the Contracting Party;

(i) "radioactive waste management" means all activities, including decommissioning activities, that relate to the handling, pretreatment, treatment, conditioning, storage, or disposal of radioactive waste, excluding off-site transportation. It may also involve discharges;

(j) "radioactive waste management facility" means any facility or installation the primary purpose of which is radioactive waste management, including a nuclear facility in the process of being decommissioned only if it is designated by the Contracting Party as a radioactive waste management facility;

(k) "regulatory body" means any body or bodies given the legal authority by the Contracting Party to regulate any aspect of the safety of spent fuel or radioactive waste management including the granting of licences;

(l) "reprocessing" means a process or operation, the purpose of which is to extract radioactive isotopes from spent fuel for further use;

放射性廃棄物等安全条約

- (m) 「密封線源」とは、容器に常時密封され又は密接に結合された固体状の放射性物質をいい、原子炉燃料要素を除く。
- (n) 「使用済燃料」とは、原子炉の炉心において照射を受け、その炉心から永久に除去された核燃料をいう。
- (o) 「使用済燃料管理」とは、使用済燃料の取扱い又は貯蔵に関連するすべての活動をいい、排出を含み、敷地外の輸送を除く。
- (p) 「使用済燃料管理施設」とは、使用済燃料管理を主たる目的とする施設又は設備をいう。
- (q) 「仕向国」とは、自国への国境を越える移動が計画され又は行われている国をいう。
- (r) 「原産国」とは、自国からの国境を越える移動が開始されることが計画され又は開始されている国をいう。
- (s) 「通過国」とは、原産国及び仕向国以外の国であって、自国の領域を通過する国境を越える移動が計画され又は行われているものをいう。
- (t) 「貯蔵」とは、再び取り出す意図を有して、閉じ込める施設において使用済燃料又は放射性廃棄物を保有することを含む。
- (u) 「国境を越える移動」とは、原産国から仕向国へ使用済燃料又は放射性廃棄物を輸送することを含む。

適用範囲

第三条 適用範囲

1 この条約は、使用済燃料管理の安全について適用する（その使用済燃料が民生用の原子炉の運転から発

(m) "sealed source" means radioactive material that is permanently sealed in a capsule or closely bonded and in a solid form, excluding reactor fuel elements;

(n) "spent fuel" means nuclear fuel that has been irradiated in and permanently removed from a reactor core;

(o) "spent fuel management" means all activities that relate to the handling or storage of spent fuel, excluding off-site transportation. It may also involve discharges;

(p) "spent fuel management facility" means any facility or installation the primary purpose of which is spent fuel management;

(q) "State of destination" means a State to which a transboundary movement is planned or takes place;

(r) "State of origin" means a State from which a transboundary movement is planned to be initiated or is initiated;

(s) "State of transit" means any State, other than a State of origin or a State of destination, through whose territory a transboundary movement is planned or takes place;

(t) "storage" means the holding of spent fuel or of radioactive waste in a facility that provides for its containment, with the intention of retrieval;

(u) "transboundary movement" means any shipment of spent fuel or of radioactive waste from a State of origin to a State of destination.

ARTICLE 3. SCOPE OF APPLICATION

1. This Convention shall apply to the safety of spent fuel management when the spent

生する場合に限る。）。締約国が再処理は使用済燃料管理の一部であると宣言しない限り、再処理に関する活動の一部として再処理施設において保有される使用済燃料は、この条約の適用範囲に含まない。

2 この条約は、放射性廃棄物管理の安全についても適用する（その放射性廃棄物が民生の利用から発生する場合に限る。）。ただし、この条約は、自然界に存在する放射性物質のみを含む廃棄物であつて核燃料サイクルから発生するものではないものについては適用しない。もつとも、密封線源であつて使用されなくなる場合又はそれぞれの締約国がこの条約の適用を受ける放射性廃棄物であると宣言した場合は、この限りでない。

3 この条約は、それぞれの締約国がこの条約の適用を受ける使用済燃料又は放射性廃棄物であると宣言する場合を除くほか、軍事上又は防衛上の施策における使用済燃料又は放射性廃棄物の管理の安全については適用しない。ただし、この条約は、軍事上又は防衛上の施策によつて発生する使用済燃料又は放射性廃棄物が民生用の施策のために永久に移転され、専ら当該施策において管理される場合には、当該使用済燃料又は放射性廃棄物の管理の安全について適用する。

4 この条約は、次条、第七条、第十一条、第十四条、第二十四条及び第二十六条に規定する排出についても適用する。

第二章 使用済燃料管理の安全

第四条 安全に関する一般的な要件

締約国は、使用済燃料管理のすべての段階において、放射線による危険から個人、社会及び環境を適切に保護することを確保するため、適当な措置をとる。

このため、締約国は、次のことのために適当な措置をとる。

放射性廃棄物等安全条約

fuel results from the operation of civilian nuclear reactors. Spent fuel held at reprocessing facilities as part of a reprocessing activity is not covered in the scope of this Convention unless the Contracting Party declares reprocessing to be part of spent fuel management.

2. This Convention shall also apply to the safety of radioactive waste management when the radioactive waste results from civilian applications. However, this Convention shall not apply to waste that contains only naturally occurring radioactive materials and that does not originate from the nuclear fuel cycle, unless it constitutes a disused sealed source or it is declared as radioactive waste for the purposes of this Convention by the Contracting Party.

3. This Convention shall not apply to the safety of management of spent fuel or radioactive waste within military or defence programmes, unless declared as spent fuel or radioactive waste for the purposes of this Convention by the Contracting Party. However, this Convention shall apply to the safety of management of spent fuel and radioactive waste from military or defence programmes if and when such materials are transferred permanently to and managed within exclusively civilian programmes.

4. This Convention shall also apply to discharges as provided for in Articles 4, 7, 11, 14, 24 and 26.

CHAPTER 2 SAFETY OF SPENT FUEL MANAGEMENT

ARTICLE 4. GENERAL SAFETY REQUIREMENTS

Each Contracting Party shall take the appropriate steps to ensure that at all stages of spent fuel management, individuals, society and the environment are adequately protected against radiological hazards.

In so doing, each Contracting Party shall take the appropriate steps to:

放射性廃棄物等安全条約

- (i) 臨界について及び使用済燃料管理の間に発生する残留熱の除去について適切な対処を確保すること。
- (ii) 自国が採用した燃料サイクル政策の類型に即して、使用済燃料管理に関連する放射性廃棄物の発生が実行可能な限り最小限にとどめられることを確保すること。
- (iii) 使用済燃料管理における異なる段階が相互に依存していることを考慮に入れること。
- (iv) 国際的に認められた基準に妥当な考慮を払った自国の国内法の枠組みにおいて、規制機関によって承認された適当な防護方法を自国において適用することにより、個人、社会及び環境を効果的に保護すること。
- (v) 使用済燃料管理に関連する生物学的、化学的その他の危険を考慮に入れること。
- (vi) 現在の世代に許容されている影響よりも大きな影響であつて合理的に予見可能なものを将来の世代に及ぼす行動をとらないよう努力すること。
- (vii) 将来の世代に不当な負担を課することを避けることを目標とすること。

第五条 既存の施設

締約国は、この条約が自国について効力を生じた時に既に存在している使用済燃料管理施設の安全について検討し及び当該施設の安全性を向上させるために必要な場合にはすべての合理的に実行可能な改善が行われることを確保するため、適当な措置をとる。

第六条 計画されている施設の立地

1 締約国は、計画されている使用済燃料管理施設に関し、次のことについて手続が定められ及び実施され

- (i) ensure that criticality and removal of residual heat generated during spent fuel management are adequately addressed;
- (ii) ensure that the generation of radioactive waste associated with spent fuel management is kept to the minimum practicable, consistent with the type of fuel cycle policy adopted;
- (iii) take into account interdependencies among the different steps in spent fuel management;
- (iv) provide for effective protection of individuals, society and the environment, by applying at the national level suitable protective methods as approved by the regulatory body, in the framework of its national legislation which has due regard to internationally endorsed criteria and standards;
- (v) take into account the biological, chemical and other hazards that may be associated with spent fuel management;
- (vi) strive to avoid actions that impose reasonably predictable impacts on future generations greater than those permitted for the current generation;
- (vii) aim to avoid imposing undue burdens on future generations.

ARTICLE 5. EXISTING FACILITIES

Each Contracting Party shall take the appropriate steps to review the safety of any spent fuel management facility existing at the time the Convention enters into force for that Contracting Party and to ensure that, if necessary, all reasonably practicable improvements are made to upgrade the safety of such a facility.

ARTICLE 6. SITING OF PROPOSED FACILITIES

1. Each Contracting Party shall take the appropriate steps to ensure that procedures

ることを確保するため、適当な措置をとる。

(i) 当該施設の使用期間中その安全に影響を及ぼすおそれのある立地に関するすべての関連要因を評価する。

(ii) 当該施設が個人、社会及び環境に対して及ぼすおそれのある安全上の影響を評価すること。

(iii) 当該施設の安全に関する情報を公衆が利用可能なものとする。

(iv) 当該施設が影響を及ぼすおそれがある限りにおいて、当該施設の近隣にある締約国と協議を行い、及び当該施設が当該締約国の領域に及ぼすおそれのある安全上の影響について当該締約国が評価することを可能とするため当該施設に関する一般的なデータを当該締約国の要請に応じて提供すること。

2 締約国は、1の規定を実施するに当たり、第四条に定める安全に関する一般的な要件に従い1に規定する施設の設置場所を決めることにより当該施設が他の締約国に容認し難い影響を及ぼさないことを確保するため、適当な措置をとる。

第七条 施設の設計及び建設

締約国は、次のことを確保するため、適当な措置をとる。

(i) 使用済燃料管理施設の設計及び建設に当たり、個人、社会及び環境に対して及ぼすおそれのある放射線による影響（排出又は制御されない放出によるものを含む。）を制限するための適当な措置がとられる。

(ii) 設計段階において、使用済燃料管理施設の廃止措置に関して想定される手順及び必要に応じ当該廃止措置に関する技術的な規定が考慮されること。

放射性廃棄物等安全条約

are established and implemented for a proposed spent fuel management facility:

(i) to evaluate all relevant site-related factors likely to affect the safety of such a facility during its operating lifetime;

(ii) to evaluate the likely safety impact of such a facility on individuals, society and the environment;

(iii) to make information on the safety of such a facility available to members of the public;

(iv) to consult Contracting Parties in the vicinity of such a facility, insofar as they are likely to be affected by that facility, and provide them, upon their request, with general data relating to the facility to enable them to evaluate the likely safety impact of the facility upon their territory.

2. In so doing, each Contracting Party shall take the appropriate steps to ensure that such facilities shall not have unacceptable effects on other Contracting Parties by being sited in accordance with the general safety requirements of Article 4.

ARTICLE 7. DESIGN AND CONSTRUCTION OF FACILITIES

Each Contracting Party shall take the appropriate steps to ensure that:

(i) the design and construction of a spent fuel management facility provide for suitable measures to limit possible radiological impacts on individuals, society and the environment, including those from discharges or uncontrolled releases;

(ii) at the design stage, conceptual plans and, as necessary, technical provisions for the decommissioning of a spent fuel management facility are taken into account;

放射性廃棄物等安全条約

(iii) 使用済燃料管理施設の設計及び建設に用いられた技術が適切なものであることが、経験、試験又は解析により裏付けられること。

第八条 施設の安全に関する評価

締約国は、次のことを確保するため、適当な措置をとる。

- (i) 使用済燃料管理施設の建設前に、安全に関する体系的な評価及び環境評価であつて、当該施設がもたらす危険について適切であり、かつ、その使用期間を対象とするものが実施されること。
- (ii) 使用済燃料管理施設の使用を開始する前に、(i)に規定する安全に関する評価及び環境評価を補充することが必要と認められる場合には、これらの評価が更新され及び詳細なものとなること。

第九条 施設の使用

締約国は、次のことを確保するため、適当な措置をとる。

- (i) 使用済燃料管理施設の使用の許可が、前条に規定する適当な評価に基づき、かつ、建設された当該施設が設計及び安全に関する要件に合致していることを示す使用試験の完了を条件として与えられること。
- (ii) 試験、使用の経験及び前条に規定する評価から得られる使用上の制限及び条件が定められ、必要に応じて修正されること。
- (iii) 使用済燃料管理施設の使用、保守、監視、検査及び試験が定められた手続に従って行われること。

(iii) the technologies incorporated in the design and construction of a spent fuel management facility are supported by experience, testing or analysis.

ARTICLE 8. ASSESSMENT OF SAFETY OF FACILITIES

Each Contracting Party shall take the appropriate steps to ensure that:

- (i) before construction of a spent fuel management facility, a systematic safety assessment and an environmental assessment appropriate to the hazard presented by the facility and covering its operating lifetime shall be carried out;
- (ii) before the operation of a spent fuel management facility, updated and detailed versions of the safety assessment and of the environmental assessment shall be prepared when deemed necessary to complement the assessments referred to in paragraph (i).

ARTICLE 9. OPERATION OF FACILITIES

Each Contracting Party shall take the appropriate steps to ensure that:

- (i) the licence to operate a spent fuel management facility is based upon appropriate assessments as specified in Article 8 and is conditional on the completion of a commissioning programme demonstrating that the facility, as constructed, is consistent with design and safety requirements;
- (ii) operational limits and conditions derived from tests, operational experience and the assessments, as specified in Article 8, are defined and revised as necessary;
- (iii) operation, maintenance, monitoring, inspection and testing of a spent fuel management facility are conducted in accordance with established procedures;

使用済燃料の処分
放射性廃棄物管理の安全に関する一般的な要件

- (iv) 使用済燃料管理施設の使用期間中、安全に関するすべての分野における工学的及び技術的な支援が利用可能であること。
- (v) 許可を受けた者が、安全上重大な事象につき規制機関に対し時宜を失わずに報告すること。
- (vi) 使用の経験についての情報を蓄積し及び解析するための計画が作成され、必要に応じてその結果に基づいて行動がとられること。
- (vii) 使用済燃料管理施設の廃止措置計画が、当該施設の使用期間中に得られた情報を利用して作成され若しくは必要に応じて更新され、又は規制機関によって検討されること。

第十条 使用済燃料の処分

締約国が使用済燃料を処分するものとして自国の法令上の枠組みに従って指定した場合には、当該使用済燃料の処分は、次章に定める放射性廃棄物の処分に関する義務に従うものとする。

第三章 放射性廃棄物管理の安全

第十一条 安全に関する一般的な要件

締約国は、放射性廃棄物管理のすべての段階において、放射線による危険その他の危険から個人、社会及び環境を適切に保護することを確保するため、適当な措置をとる。

このため、締約国は、次のことのために適当な措置をとる。

- (i) 臨界について及び放射性廃棄物管理の間に発生する残留熱の除去について適切な対処を確保すること。

放射性廃棄物等安全条約

- (iv) engineering and technical support in all safety-related fields are available throughout the operating lifetime of a spent fuel management facility;

- (v) incidents significant to safety are reported in a timely manner by the holder of the licence to the regulatory body;

- (vi) programmes to collect and analyse relevant operating experience are established and that the results are acted upon, where appropriate;

- (vii) decommissioning plans for a spent fuel management facility are prepared and updated, as necessary, using information obtained during the operating lifetime of that facility, and are reviewed by the regulatory body.

ARTICLE 10. DISPOSAL OF SPENT FUEL

If, pursuant to its own legislative and regulatory framework, a Contracting Party has designated spent fuel for disposal, the disposal of such spent fuel shall be in accordance with the obligations of Chapter 3 relating to the disposal of radioactive waste.

CHAPTER 3 SAFETY OF RADIOACTIVE WASTE MANAGEMENT

ARTICLE 11. GENERAL SAFETY REQUIREMENTS

Each Contracting Party shall take the appropriate steps to ensure that at all stages of radioactive waste management individuals, society and the environment are adequately protected against radiological and other hazards.

In so doing, each Contracting Party shall take the appropriate steps to:

- (i) ensure that criticality and removal of residual heat generated during radioactive waste management are adequately addressed;

放射性廃棄物等安全条約

- (ii) 放射性廃棄物の発生が実行可能な限り最小限にとどめられることを確保すること。
- (iii) 放射性廃棄物管理における異なる段階が相互に依存していることを考慮に入れること。
- (iv) 国際的に認められた基準に妥当な考慮を払った自国の国内法の枠組みにおいて、規制機関によって承認された適当な防護方法を自国において適用することにより、個人、社会及び環境を効果的に保護すること。
- (v) 放射性廃棄物管理に関連する生物学的、化学的その他の危険を考慮に入れること。
- (vi) 現在の世代に許容されている影響よりも大きな影響であつて合理的に予見可能なものを将来の世代に及ぼす行動をとらないよう努力すること。
- (vii) 将来の世代に不当な負担を課することを避けることを目標とすること。

第十二条 既存の施設及び過去の行為

締約国は、次のことのため、相当な期間内に適当な措置をとる。

- (i) この条約が自国について効力を生じた時に既に存在している放射性廃棄物管理施設の安全について検討し、及び当該施設の安全性を向上させるために必要な場合にはすべての合理的に実行可能な改善が行われることを確保すること。
- (ii) 放射線量の減少による損害の減少が、介入による害及び介入の費用（社会的費用を含む。）を正当化するために十分であるべきことに留意して、何らかの介入が放射線防護のために必要であるか否かについて決定するため、過去の行為の結果を検討すること。

- (ii) ensure that the generation of radioactive waste is kept to the minimum practicable;
- (iii) take into account interdependencies among the different steps in radioactive waste management;
- (iv) provide for effective protection of individuals, society and the environment, by applying at the national level suitable protective methods as approved by the regulatory body, in the framework of its national legislation which has due regard to internationally endorsed criteria and standards;
- (v) take into account the biological, chemical and other hazards that may be associated with radioactive waste management;
- (vi) strive to avoid actions that impose reasonably predictable impacts on future generations greater than those permitted for the current generation;
- (vii) aim to avoid imposing undue burdens on future generations.

ARTICLE 12. EXISTING FACILITIES AND PAST PRACTICES

Each Contracting Party shall in due course take the appropriate steps to review:

- (i) the safety of any radioactive waste management facility existing at the time the Convention enters into force for that Contracting Party and to ensure that, if necessary, all reasonably practicable improvements are made to upgrade the safety of such a facility;
- (ii) the results of past practices in order to determine whether any intervention is needed for reasons of radiation protection bearing in mind that the reduction in detriment resulting from the reduction in dose should be sufficient to justify the harm and the costs, including the social costs, of the intervention.

計画され
ている施
設の立地

第十三条 計画されている施設の立地

1 締約国は、計画されている放射性廃棄物管理施設に関し、次のことについて手続が定められ及び実施されることを確保するため、適当な措置をとる。

(i) 当該施設の使用期間中及び処分施設の閉鎖後にその安全に影響を及ぼすおそれのある立地に関するすべての関連要因を評価すること。

(ii) 当該施設が個人、社会及び環境に対して及ぼすおそれのある安全上の影響を評価すること。この場合において、処分施設については、閉鎖後に起こり得る立地状態の変化についても考慮するものとする。

(iii) 当該施設の安全に関する情報を公衆が利用可能なものとする。

(iv) 当該施設が影響を及ぼすおそれがある限りにおいて、当該施設の近隣にある締約国と協議を行い、及び当該施設が当該締約国の領域に及ぼすおそれのある安全上の影響について当該締約国が評価することを可能とするため当該施設に関する一般的なデータを当該締約国の要請に応じて提供すること。

2 締約国は、1の規定を実施するに当たり、第十一条に定める安全に関する一般的な要件に従い1に規定する施設の設置場所を決めることにより当該施設が他の締約国に容認し難い影響を及ぼさないことを確保するため、適当な措置をとる。

第十四条 施設的设计及び建設

施設的设计
及び建設

締約国は、次のことを確保するため、適当な措置をとる。

(i) 放射性廃棄物管理施設的设计及び建設に当たり、個人、社会及び環境に対して及ぼすおそれのある放

放射性廃棄物等安全条約

ARTICLE 13. SITING OF PROPOSED FACILITIES

1. Each Contracting Party shall take the appropriate steps to ensure that procedures are established and implemented for a proposed radioactive waste management facility:

(i) to evaluate all relevant site-related factors likely to affect the safety of such a facility during its operating lifetime as well as that of a disposal facility after closure;

(ii) to evaluate the likely safety impact of such a facility on individuals, society and the environment, taking into account possible evolution of the site conditions of disposal facilities after closure;

(iii) to make information on the safety of such a facility available to members of the public;

(iv) to consult Contracting Parties in the vicinity of such a facility, insofar as they are likely to be affected by that facility, and provide them, upon their request, with general data relating to the facility to enable them to evaluate the likely safety impact of the facility upon their territory.

2. In so doing, each Contracting Party shall take the appropriate steps to ensure that such facilities shall not have unacceptable effects on other Contracting Parties by being sited in accordance with the general safety requirements of Article 11.

ARTICLE 14. DESIGN AND CONSTRUCTION OF FACILITIES

Each Contracting Party shall take the appropriate steps to ensure that:

(i) the design and construction of a radioactive waste management facility provide for

放射性廃棄物等安全条約

射線による影響（排出又は制御されない放出によるものを含む。）を制限するための適当な措置がとられること。

- (ii) 設計段階において、放射性廃棄物管理施設（処分施設を除く。）の廃止措置に関して想定される手順及び必要に応じ当該廃止措置に関する技術的な規定が考慮されること。
- (iii) 設計段階において、処分施設の閉鎖のための技術的な規定が作成されること。
- (iv) 放射性廃棄物管理施設の設計及び建設に用いられた技術が適切なものであることが、経験、試験又は解析により裏付けられること。

第十五条 施設の安全に関する評価

締約国は、次のことを確保するため、適当な措置をとる。

- (i) 放射性廃棄物管理施設の建設前に、安全に関する体系的な評価及び環境評価であって、当該施設がもたらす危険について適切であり、かつ、その使用期間を対象とするものが実施されること。
- (ii) 処分施設の建設前に、閉鎖後の期間についての安全に関する体系的な評価及び環境評価が実施され、規制機関が定めた基準に従ってその結果が評価されること。
- (iii) 放射性廃棄物管理施設の使用を開始する前に、(i)に規定する安全に関する評価及び環境評価を補充することが必要と認められる場合には、これらの評価が更新され及び詳細なものになること。

suitable measures to limit possible radiological impacts on individuals, society and the environment, including those from discharges or uncontrolled releases;

- (ii) at the design stage, conceptual plans and, as necessary, technical provisions for the decommissioning of a radioactive waste management facility other than a disposal facility are taken into account;
- (iii) at the design stage, technical provisions for the closure of a disposal facility are prepared;
- (iv) the technologies incorporated in the design and construction of a radioactive waste management facility are supported by experience, testing or analysis.

ARTICLE 15. ASSESSMENT OF SAFETY OF FACILITIES

Each Contracting Party shall take the appropriate steps to ensure that:

- (i) before construction of a radioactive waste management facility, a systematic safety assessment and an environmental assessment appropriate to the hazard presented by the facility and covering its operating lifetime shall be carried out;
- (ii) in addition, before construction of a disposal facility, a systematic safety assessment and an environmental assessment for the period following closure shall be carried out and the results evaluated against the criteria established by the regulatory body;
- (iii) before the operation of a radioactive waste management facility, updated and detailed versions of the safety assessment and of the environmental assessment shall be prepared when deemed necessary to complement the assessments referred to in paragraph (i).

施設の使用

第十六条 施設の使用

締約国は、次のことを確保するため、適当な措置をとる。

- (i) 放射性廃棄物管理施設の使用の許可が、前条に規定する適当な評価に基づき、かつ、建設された当該施設が設計及び安全に関する要件に合致していることを示す使用試験の完了を条件として与えられること。
- (ii) 試験、使用の経験及び前条に規定する評価から得られる使用上の制限及び条件が定められ、必要に応じて修正されること。
- (iii) 放射性廃棄物管理施設の使用、保守、監視、検査及び試験が定められた手続に従って行われること。処分施設については、このようにして得られた結果が、前提条件の妥当性を検証し及び検討するため並びに前条に規定する閉鎖後の期間についての評価を更新するために利用されること。
- (iv) 放射性廃棄物管理施設の使用期間中、安全に関するすべての分野における工学的及び技術的な支援が利用可能であること。
- (v) 放射性廃棄物の特性の決定及び分別のための手続が適用されること。
- (vi) 許可を受けた者が、安全上重大な事象につき規制機関に対し時宜を失することなく報告すること。
- (vii) 使用の経験についての情報を蓄積し及び解析するための計画が作成され、必要に応じてその結果に基づいて行動がとられること。
- (viii) 放射性廃棄物管理施設（処分施設を除く。）の廃止措置計画が、当該施設の使用期間中に得られた情報を利用して作成され若しくは必要に応じて更新され、又は規制機関によって検討されること。

放射性廃棄物等安全条約

ARTICLE 16. OPERATION OF FACILITIES

Each Contracting Party shall take the appropriate steps to ensure that:

- (i) the licence to operate a radioactive waste management facility is based upon appropriate assessments as specified in Article 15 and is conditional on the completion of a commissioning programme demonstrating that the facility, as constructed, is consistent with design and safety requirements;
- (ii) operational limits and conditions, derived from tests, operational experience and the assessments as specified in Article 15 are defined and revised as necessary;
- (iii) operation, maintenance, monitoring, inspection and testing of a radioactive waste management facility are conducted in accordance with established procedures. For a disposal facility the results thus obtained shall be used to verify and to review the validity of assumptions made and to update the assessments as specified in Article 15 for the period after closure;
- (iv) engineering and technical support in all safety-related fields are available throughout the operating lifetime of a radioactive waste management facility;
- (v) procedures for characterization and segregation of radioactive waste are applied;
- (vi) incidents significant to safety are reported in a timely manner by the holder of the licence to the regulatory body;
- (vii) programmes to collect and analyse relevant operating experience are established and that the results are acted upon, where appropriate;
- (viii) decommissioning plans for a radioactive waste management facility other than a disposal facility are prepared and updated, as necessary, using information obtained during the operating lifetime of that facility, and are reviewed by the regulatory body;

放射性廃棄物等安全条約

- (ix) 処分施設の閉鎖のための計画が、当該施設の使用期間中に得られた情報を利用して作成され若しくは必要に応じて更新され、又は規制機関によって検討されること。

第十七条 閉鎖後の制度的な措置

締約国は、処分施設の閉鎖後に次のことを確保するため、適當な措置をとる。

- (i) 当該施設の所在地、設計及び在庫目録に関する記録であつて、規制機関が要求するものが保存されること。
- (ii) 必要な場合には、監視、立入制限等の能動的又は受動的な制度的管理が実施されること。
- (iii) 能動的な制度的管理の間に放射性物質の環境への計画されていない放出が検出された場合において、必要なときは、介入措置を実施すること。

安全に関する一般規定

第四章 安全に関する一般規定

第十八条 実施のための措置

締約国は、自国の国内法の枠組みの中で、この条約に基づく義務を履行するために必要な法令上、行政上その他の措置をとる。

第十九条 法令上の枠組み

法令上の枠組み

1 締約国は、使用済燃料管理及び放射性廃棄物管理の安全を規律するため、法令上の枠組みを定め及び維持する。

- (ix) plans for the closure of a disposal facility are prepared and updated, as necessary, using information obtained during the operating lifetime of that facility and are reviewed by the regulatory body.

ARTICLE 17. INSTITUTIONAL MEASURES AFTER CLOSURE

Each Contracting Party shall take the appropriate steps to ensure that after closure of a disposal facility:

- (i) records of the location, design and inventory of that facility required by the regulatory body are preserved;
- (ii) active or passive institutional controls such as monitoring or access restrictions are carried out, if required; and
- (iii) if, during any period of active institutional control, an unplanned release of radioactive materials into the environment is detected, intervention measures are implemented, if necessary.

CHAPTER 4. GENERAL SAFETY PROVISIONS

ARTICLE 18. IMPLEMENTING MEASURES

Each Contracting Party shall take, within the framework of its national law, the legislative, regulatory and administrative measures and other steps necessary for implementing its obligations under this Convention.

ARTICLE 19. LEGISLATIVE AND REGULATORY FRAMEWORK

1. Each Contracting Party shall establish and maintain a legislative and regulatory framework to govern the safety of spent fuel and radioactive waste management.

2 法令上の枠組みは、次の事項について定める。

- (i) 放射線からの安全について適用される国内的な安全に関する要件及び規制
 - (ii) 使用済燃料管理及び放射性廃棄物管理に関する活動を許可する制度
 - (iii) 許可を受けることなく使用済燃料管理施設及び放射性廃棄物管理施設を使用することを禁止する制度
 - (iv) 適当な制度的管理、規制として行われる検査並びに文書及び報告に関する制度
 - (v) 適用される規制及び許可の実施を確保するための措置
 - (vi) 使用済燃料管理及び放射性廃棄物管理における異なる段階に関係する機関の責任の明確な分担
- 3 締約国は、放射性物質を放射性廃棄物として規制するか否かについて検討するに当たり、この条約の目的に妥当な考慮を払う。

規制機関

第二十条 規制機関

- 1 締約国は、前条に定める法令上の枠組みを実施することを任務とする規制機関を設立し又は指定するものとし、当該機関に対し、その任務を遂行するための適当な権限、財源及び人的資源を与える。
- 2 締約国は、使用済燃料又は放射性廃棄物の管理及び規制の双方に関係している組織において規制を行う任務がその他の任務から効果的に独立していることを確保するため、自国の法令上の枠組みに従い適当な

放射性廃棄物等安全条約

2. This legislative and regulatory framework shall provide for:

- (i) the establishment of applicable national safety requirements and regulations for radiation safety;
- (ii) a system of licensing of spent fuel and radioactive waste management activities;
- (iii) a system of prohibition of the operation of a spent fuel or radioactive waste management facility without a licence;
- (iv) a system of appropriate institutional control, regulatory inspection and documentation and reporting;
- (v) the enforcement of applicable regulations and of the terms of the licences;
- (vi) a clear allocation of responsibilities of the bodies involved in the different steps of spent fuel and of radioactive waste management.

3. When considering whether to regulate radioactive materials as radioactive waste, Contracting Parties shall take due account of the objectives of this Convention.

ARTICLE 20. REGULATORY BODY

1. Each Contracting Party shall establish or designate a regulatory body entrusted with the implementation of the legislative and regulatory framework referred to in Article 19, and provided with adequate authority, competence and financial and human resources to fulfill its assigned responsibilities.
2. Each Contracting Party, in accordance with its legislative and regulatory framework, shall take the appropriate steps to ensure the effective independence of the regulatory

放射性廃棄物等安全条約

措置をとる。

第二十一条 許可を受けた者の責任

- 1 締約国は、使用済燃料管理又は放射性廃棄物管理の安全のための主要な責任は関係する許可を受けた者が負うことを確保するものとし、許可を受けた者がその責任を果たすことを確保するため適当な措置をとる。
- 2 許可を受けた者又は責任を有するその他の者が存在しない場合には、使用済燃料又は放射性廃棄物について管轄権を有する締約国がその責任を負う。

第二十二条 人的資源及び財源

締約国は、次のことを確保するため、適当な措置をとる。

- (i) 使用済燃料管理施設及び放射性廃棄物管理施設の使用期間中、必要に応じ、安全に関する活動のために、能力を有する職員が利用可能であること。
- (ii) 使用済燃料管理施設及び放射性廃棄物管理施設の使用期間中並びにこれらの施設に係る廃止措置をとるに当たり、これらの施設の安全の確保を支援するために、適当な財源が利用可能であること。
- (iii) 適当な制度的管理及び監視措置が処分施設の閉鎖後必要と認める期間継続されることを可能にするために、財源が確保されること。

functions from other functions where organizations are involved in both spent fuel or radioactive waste management and in their regulation.

ARTICLE 21. RESPONSIBILITY OF THE LICENCE HOLDER

1. Each Contracting Party shall ensure that prime responsibility for the safety of spent fuel or radioactive waste management rests with the holder of the relevant licence and shall take the appropriate steps to ensure that each such licence holder meets its responsibility.
2. If there is no such licence holder or other responsible party, the responsibility rests with the Contracting Party which has jurisdiction over the spent fuel or over the radioactive waste.

ARTICLE 22. HUMAN AND FINANCIAL RESOURCES

Each Contracting Party shall take the appropriate steps to ensure that:

- (i) qualified staff are available as needed for safety-related activities during the operating lifetime of a spent fuel and a radioactive waste management facility;
- (ii) adequate financial resources are available to support the safety of facilities for spent fuel and radioactive waste management during their operating lifetime and for decommissioning;
- (iii) financial provision is made which will enable the appropriate institutional controls and monitoring arrangements to be continued for the period deemed necessary following the closure of a disposal facility.

品質保証

第二十三条 品質保証

締約国は、使用済燃料管理及び放射性廃棄物管理の安全についての品質保証に関する適当な計画が作成され及び実施されることを確保するため、必要な措置をとる。

使用に際しての放射線防護

第二十四条 使用に際しての放射線防護

1 締約国は、使用済燃料管理施設及び放射性廃棄物管理施設の使用期間中次のことを確保するため、適当な措置をとる。

- (i) 経済的及び社会的な要因を考慮に入れて、作業員及び公衆がこれらの施設に起因する放射線にさらされる程度が合理的に達成可能な限り低く維持されること。
- (ii) いかなる個人も、通常の状態において、自国が定める線量の限度であつて放射線防護に関して国際的に認められた基準に妥当な考慮を払ったものを超える放射線量にさらされないこと。
- (iii) 放射性物質の環境への計画されておらず又は制御されていない放出を防止するための措置をとること。

2 締約国は、次のことを確保するため、適当な措置をとる。

- (i) 経済的及び社会的な要因を考慮に入れて、放射線にさらされる程度が合理的に達成可能な限り低く維持されるよう排出が制限されること。
- (ii) いかなる個人も、通常の状態において、自国が定める線量の限度であつて放射線防護に関して国際的に認められた基準に妥当な考慮を払ったものを超える放射線量にさらされないよう排出が制限されること。

放射性廃棄物等安全条約

ARTICLE 23. QUALITY ASSURANCE

Each Contracting Party shall take the necessary steps to ensure that appropriate quality assurance programmes concerning the safety of spent fuel and radioactive waste management are established and implemented.

ARTICLE 24. OPERATIONAL RADIATION PROTECTION

1. Each Contracting Party shall take the appropriate steps to ensure that during the operating lifetime of a spent fuel or radioactive waste management facility:

- (i) the radiation exposure of the workers and the public caused by the facility shall be kept as low as reasonably achievable, economic and social factors being taken into account;
- (ii) no individual shall be exposed, in normal situations, to radiation doses which exceed national prescriptions for dose limitation which have due regard to internationally endorsed standards on radiation protection; and
- (iii) measures are taken to prevent unplanned and uncontrolled releases of radioactive materials into the environment.

2. Each Contracting Party shall take appropriate steps to ensure that discharges shall be limited:

- (i) to keep exposure to radiation as low as reasonably achievable, economic and social factors being taken into account; and
- (ii) so that no individual shall be exposed, in normal situations, to radiation doses which exceed national prescriptions for dose limitation which have due regard to internationally endorsed standards on radiation protection.

放射性廃棄物等安全条約

3 締約国は、規制された原子力施設の使用期間中、放射性物質の環境への計画されておらず又は制御されていない放出が発生した場合には、その放出を制御し及びその影響を緩和するための適当な是正措置ととられることを確保するため、適当な措置をとる。

第二十五条 緊急事態のための準備

緊急事態
のための
準備

1 締約国は、使用済燃料管理施設及び放射性廃棄物管理施設の使用前及び使用中に敷地内及び必要な場合には敷地外の適当な緊急事態計画が準備されることを確保する。この緊急事態計画は、適当な頻度で検証すべきである。

2 締約国は、自国の領域の近隣にある使用済燃料管理施設又は放射性廃棄物管理施設における放射線緊急事態の影響を受けるおそれがある限りにおいて、自国の領域に係る緊急事態計画を作成し及び検証するた
め、適当な措置をとる。

廃止措置

第二十六条 廃止措置

締約国は、原子力施設の廃止措置の安全を確保するため、適当な措置をとる。この措置は、次のことを確
保するものとする。

- (i) 能力を有する職員及び適当な財源が利用可能であること。
- (ii) 作業に際しての放射線防護、排出及び計画されておらず又は制御されていない放出に関する第二十四
条の規定が適用されること。
- (iii) 緊急事態のための準備に関する前条の規定が適用されること。

3. Each Contracting Party shall take appropriate steps to ensure that during the operating lifetime of a regulated nuclear facility, in the event that an unplanned or uncontrolled release of radioactive materials into the environment occurs, appropriate corrective measures are implemented to control the release and mitigate its effects.

ARTICLE 25. EMERGENCY PREPAREDNESS

1. Each Contracting Party shall ensure that before and during operation of a spent fuel or radioactive waste management facility there are appropriate on-site and, if necessary, off-site emergency plans. Such emergency plans should be tested at an appropriate frequency.

2. Each Contracting Party shall take the appropriate steps for the preparation and testing of emergency plans for its territory insofar as it is likely to be affected in the event of a radiological emergency at a spent fuel or radioactive waste management facility in the vicinity of its territory.

ARTICLE 26. DECOMMISSIONING

Each Contracting Party shall take the appropriate steps to ensure the safety of decommissioning of a nuclear facility. Such steps shall ensure that:

- (i) qualified staff and adequate financial resources are available;
- (ii) the provisions of Article 24 with respect to operational radiation protection, discharges and unplanned and uncontrolled releases are applied;
- (iii) the provisions of Article 25 with respect to emergency preparedness are applied, and

雑 則

国境を越える移動

(iv) 廃止措置に関する重要な情報の記録が保存されること。

第五章 雑則

第二十七条 国境を越える移動

1 国境を越える移動に関係している締約国は、この移動がこの条約及び関連する拘束力のある国際文書の規定に合致する方法で実施されることを確保するため、適当な措置を講ずる。

このため、

(i) 原産国である締約国は、国境を越える移動が、仕向国に事前に通報され及び仕向国の同意がある場合にのみ認められ及び実施されることを確保するため、適当な措置を講ずる。

(ii) 通過国を通過する国境を越える移動は、用いられる特定の輸送方式に関連する国際的な義務に従う。

(iii) 仕向国である締約国は、この条約に合致する方法で使用済燃料又は放射性廃棄物を管理するために必要な事務上及び技術上の能力並びに規制の体系を有する場合にのみ、国境を越える移動に同意する。

(iv) 原産国である締約国は、仕向国の同意があることにより、(iii)に定める要件が満たされていることを事前に確認することができる場合にのみ、国境を越える移動を認める。

(v) 原産国である締約国は、この条の規定に従って行われる国境を越える移動が完了しないか又は完了することができない場合には、代替りの安全措置をとることができる場合を除くほか、自国の領域に戻す

放射性廃棄物等安全条約

(iv) records of information important to decommissioning are kept.

CHAPTER 5 MISCELLANEOUS PROVISIONS

ARTICLE 27. TRANSBOUNDARY MOVEMENT

1. Each Contracting Party involved in transboundary movement shall take the appropriate steps to ensure that such movement is undertaken in a manner consistent with the provisions of this Convention and relevant binding international instruments.

In so doing:

(i) a Contracting Party which is a State of origin shall take the appropriate steps to ensure that transboundary movement is authorized and takes place only with the prior notification and consent of the State of destination;

(ii) transboundary movement through States of transit shall be subject to those international obligations which are relevant to the particular modes of transport utilized;

(iii) a Contracting Party which is a State of destination shall consent to a transboundary movement only if it has the administrative and technical capacity, as well as the regulatory structure, needed to manage the spent fuel or the radioactive waste in a manner consistent with this Convention;

(iv) a Contracting Party which is a State of origin shall authorize a transboundary movement only if it can satisfy itself in accordance with the consent of the State of destination that the requirements of subparagraph (iii) are met prior to transboundary movement;

(v) a Contracting Party which is a State of origin shall take the appropriate steps to permit re-entry into its territory, if a transboundary movement is

放射性廃棄物等安全条約

ことを認めるため、適当な措置をとる。

2 締約国は、貯蔵又は処分のために使用済燃料又は放射性廃棄物を南緯六十度以南の地域へ輸送することを許可しない。

3 この条約のいかなる規定も、次のことを妨げるものではなく、又は次のことに影響を及ぼすものではない。

(i) 国際法に定めるところにより、海洋及び河川における航行並びに航空に関する権利及び自由がすべての国の船舶及び航空機によって行使されること。

(ii) 処理のために放射性廃棄物が輸出された締約国が、当該処理後に当該放射性廃棄物その他の物質を原産国へ返還し又は返還するための措置をとる権利を有すること。

(iii) 再処理のために使用済燃料を輸出する権利を締約国が有すること。

(iv) 再処理のために使用済燃料が輸出された締約国が、再処理工程から発生した放射性廃棄物その他の物質を原産国へ返還し又は返還するための措置をとる権利を有すること。

第二十八条 使用されなくなった密封線源

使用され
なくなつ
た密封線
源

1 締約国は、自国の国内法の枠組みにおいて、使用されなくなった密封線源の保有、再生又は処分が安全な方法で行われることを確保するため、適当な措置をとる。

2 締約国は、自国の国内法の枠組みにおいて、使用されなくなった密封線源を受領し及び保有する資格を有する製造者に使用されなくなった密封線源が返還されることを認める場合には、当該使用されなくなった密封線源を自国の領域内に戻すことを認める。

not or cannot be completed in conformity with this Article, unless an alternative safe arrangement can be made.

2. A Contracting Party shall not licence the shipment of its spent fuel or radioactive waste to a destination south of latitude 60 degrees South for storage or disposal.

3. Nothing in this Convention prejudices or affects:

(i) the exercise, by ships and aircraft of all States, of maritime, river and air navigation rights and freedoms, as provided for in international law;

(ii) rights of a Contracting Party to which radioactive waste is exported for processing to return, or provide for the return of, the radioactive waste and other products after treatment to the State of origin;

(iii) the right of a Contracting Party to export its spent fuel for reprocessing;

(iv) rights of a Contracting Party to which spent fuel is exported for reprocessing to return, or provide for the return of, radioactive waste and other products resulting from reprocessing operations to the State of origin.

ARTICLE 28. DISUSED SEALED SOURCES

1. Each Contracting Party shall, in the framework of its national law, take the appropriate steps to ensure that the possession, remanufacturing or disposal of disused sealed sources takes place in a safe manner.

2. A Contracting Party shall allow for reentry into its territory of disused sealed sources if, in the framework of its national law, it has accepted that they be returned to a manufacturer qualified to receive and possess the disused sealed sources.

締約国の
会合
準備会合

第六章 締約国の会合

第二十九条 準備会合

- 1 この条約の効力発生の日の後六箇月以内に、締約国の準備会合が開催される。
- 2 締約国は、準備会合において、
- (i) 次条に定める第一回の検討会合の日を決定する。当該検討会合は、この条約の効力発生の日の後、できる限り速やかに、少なくとも三十箇月以内に、開催される。
- (ii) 手続規則及び財政規則を作成し、コンセンサス方式によって採択する。
- (iii) 特に、手続規則に従い、次の事項に関する規則を定める。
- (a) 第三十二条の規定に従って提出される国別報告の形式及び構成に関する指針
- (b) 報告の提出の日
- (c) 報告の検討のための手続
- 3 この条約を批准し、受諾し若しくは承認し、これに加入し又はこれを確認する国及び地域的な統合のための機関その他の地域的な機関は、この条約が当該国又は当該機関について効力を生じていない場合には、この条約の締約国とみなされて準備会合に出席することができる。
- 第三十条 検討会合
- 1 締約国は、第三十二条の規定に従って提出された報告を検討するための会合（「検討会合」）を開催する。

放射性廃棄物等安全条約

CHAPTER 6 MEETINGS OF THE CONTRACTING PARTIES

ARTICLE 29. PREPARATORY MEETING

1. A preparatory meeting of the Contracting Parties shall be held not later than six months after the date of entry into force of this Convention.
2. At this meeting, the Contracting Parties shall:
- (i) determine the date for the first review meeting as referred to in Article 30. This review meeting shall be held as soon as possible, but not later than thirty months after the date of entry into force of this Convention;
- (ii) prepare and adopt by consensus Rules of Procedure and Financial Rules;
- (iii) establish in particular and in accordance with the Rules of Procedure:
- (a) guidelines regarding the form and structure of the national reports to be submitted pursuant to Article 32;
- (b) a date for the submission of such reports;
- (c) the process for reviewing such reports.
3. Any State or regional organization of an integration or other nature which ratifies, accepts, approves, accedes to or confirms this Convention and for which the Convention is not yet in force, may attend the preparatory meeting as if it were a Party to this Convention.
- ARTICLE 30. REVIEW MEETINGS
1. The Contracting Parties shall hold meetings for the purpose of reviewing the reports submitted pursuant to Article 32.

放射性廃棄物等安全条約

- 2 締約国は、各検討会合において次のことを行う。
- (i) 次回の検討会合の日を決定する。検討会合の間隔は、三年を超えてはならない。
- (ii) 前条2の規定に基づいて定める事項を再検討することができるものとし、手続規則に別段の定めがある場合を除くほか、コンセンサス方式によりその改正を採択することができる。締約国は、またコンセンサス方式により手続規則及び財政規則を改正することができる。
- 3 締約国は、各検討会合において他の締約国が提出した報告を討議し及び当該報告に関する説明を求めるための適切な機会を与えられる。

特別会合

第三十一条 特別会合

- 締約国の特別会合は、次のいずれかの場合に開催される。
- (i) 会合に出席しかつ投票する締約国の過半数が同意する場合
- (ii) 締約国の書面による要請がある場合において、第三十七条に規定する事務局が当該要請を締約国に通報し、かつ、締約国の過半数が当該要請を支持する旨事務局に通知したとき。(i)の場合において、特別会合は、その通知の後六箇月以内に開催される。

報告

第三十二条 報告

- 1 締約国は、第三十条の規定に従い、締約国の検討会合ごとに自国の報告を提出する。この報告は、この条約に基づく義務を履行するためにとつた措置を対象とする。また、締約国は、自国の報告に次の事項を記載する。

2. At each review meeting the Contracting Parties:

- (i) shall determine the date for the next such meeting, the interval between review meetings not exceeding three years;
- (ii) may review the arrangements established pursuant to paragraph 2 of Article 29, and adopt revisions by consensus unless otherwise provided for in the Rules of Procedure. They may also amend the Rules of Procedure and Financial Rules by consensus.

3. At each review meeting each Contracting Party shall have a reasonable opportunity to discuss the reports submitted by other Contracting Parties and to seek clarification of such reports.

ARTICLE 31. EXTRAORDINARY MEETINGS

An extraordinary meeting of the Contracting Parties shall be held:

- (i) if so agreed by a majority of the Contracting Parties present and voting at a meeting; or
- (ii) at the written request of a Contracting Party, within six months of this request having been communicated to the Contracting Parties and notification having been received by the secretariat referred to in Article 37 that the request has been supported by a majority of the Contracting Parties.

ARTICLE 32. REPORTING

1. In accordance with the provisions of Article 30, each Contracting Party shall submit a national report to each review meeting of Contracting Parties. This report shall address the measures taken to implement each of the obligations of the Convention. For each Contracting Party the report shall also address its:

- (i) 使用済燃料管理に関する政策
 - (ii) 使用済燃料管理に関する行為
 - (iii) 放射性廃棄物管理に関する政策
 - (iv) 放射性廃棄物管理に関する行為
 - (v) 放射性廃棄物を定義し、区分するために用いられた基準
- 2 1の報告には、また、次の事項を含める。

- (i) この条約の対象となる使用済燃料管理施設の一覧表。この一覧表には、これらの施設の所在地、主要な目的及び重要な特徴を含める。
 - (ii) この条約の対象となる使用済燃料であって貯蔵されているもの及び処分された使用済燃料の目録。この目録には、これらの物質の性状を記載し、並びに入手可能な場合にはその質量及び全放射能についての情報を記載する。
 - (iii) この条約の対象となる放射性廃棄物管理施設の一覧表。この一覧表には、これらの施設の所在地、主要な目的及び重要な特徴を含める。
 - (iv) この条約の対象となる次の放射性廃棄物の目録
 - (a) 放射性廃棄物管理施設及び核燃料サイクル施設に貯蔵されている放射性廃棄物
 - (b) 処分された放射性廃棄物
 - (c) 過去の行為から生じた放射性廃棄物
- この目録には、これらの物質の性状その他入手可能な適当な情報（例えば、容量又は質量、放射能及び特定の放射性核種）を記載する。

放射性廃棄物等安全条約

- (i) spent fuel management policy;
 - (ii) spent fuel management practices;
 - (iii) radioactive waste management policy;
 - (iv) radioactive waste management practices;
 - (v) criteria used to define and categorize radioactive waste.
2. This report shall also include:

- (i) a list of the spent fuel management facilities subject to this Convention, their location, main purpose and essential features;
 - (ii) an inventory of spent fuel that is subject to this Convention and that is being held in storage and of that which has been disposed of. This inventory shall contain a description of the material and, if available, give information on its mass and its total activity;
 - (iii) a list of the radioactive waste management facilities subject to this Convention, their location, main purpose and essential features;
 - (iv) an inventory of radioactive waste that is subject to this Convention that:
 - (a) is being held in storage at radioactive waste management and nuclear fuel cycle facilities;
 - (b) has been disposed of; or
 - (c) has resulted from past practices.
- This inventory shall contain a description of the material and other appropriate information available, such as volume or mass, activity and specific radionuclides;

放射性廃棄物等安全条約

(v) 廃止措置の過程にある原子力施設の一覧表及びこれらの施設における廃止措置活動の状況

出席

第三十三条 出席

1 締約国は、締約国の会合に出席するものとし、その代表団は、一人の代表並びに自国が必要と認める代表代理、専門家及び顧問によって構成される。

2 締約国は、この条約が規律する事項に関して権限を有する政府間機関がオブザーバーとして会合又はその一部に出席することをコンセンサス方式による決定によって招請することとなる。オブザーバーは、第三十六条の規定を書面によって、かつ、事前に受諾することを要求される。

第三十四条 概要についての報告

締約国は、締約国の会合の期間中に討議された事項及び得られた結論について記載した文書をコンセンサス方式によって採択し、及び公衆が利用可能なものとする。

言語

第三十五条 言語

1 締約国の会合の言語は、手続規則に別段の定めがある場合を除くほか、アラビア語、中国語、英語、フランス語、ロシア語及びスペイン語とする。

2 第三十二条の規定に従って提出される報告は、提出する締約国の国語又は手続規則において合意される単一の指定された言語（以下「指定言語」という。）で作成される。報告を指定言語以外の国語で提出する締約国は、当該報告の指定言語への翻訳を提供する。

(v) a list of nuclear facilities in the process of being decommissioned and the status of decommissioning activities at those facilities.

ARTICLE 33. ATTENDANCE

1. Each Contracting Party shall attend meetings of the Contracting Parties and be represented at such meetings by one delegate, and by such alternates, experts and advisers as it deems necessary.

2. The Contracting Parties may invite, by consensus, any intergovernmental organization which is competent in respect of matters governed by this Convention to attend, as an observer, any meeting, or specific sessions thereof. Observers shall be required to accept in writing, and in advance, the provisions of Article 36.

ARTICLE 34. SUMMARY REPORTS

The Contracting Parties shall adopt, by consensus, and make available to the public a document addressing issues discussed and conclusions reached during meetings of the Contracting Parties.

ARTICLE 35. LANGUAGES

1. The languages of meetings of the Contracting Parties shall be Arabic, Chinese, English, French, Russian and Spanish unless otherwise provided in the Rules of Procedure.

2. Reports submitted pursuant to Article 32 shall be prepared in the national language of the submitting Contracting Party or in a single designated language to be agreed in the Rules of Procedure. Should the report be submitted in a national language other than the designated language, a translation of the report into the designated language shall be provided by the Contracting Party.

秘密性

3 2の規定にかかわらず、費用が負担される場合には、事務局は、1に定める会合の言語（指定言語を除く。）で提出された報告を指定言語に翻訳する。

第三十六条 秘密性

1 この条約のいずれの規定も、情報の秘密を保護する国内法に基づく締約国の権利及び義務に影響を及ぼすものではない。この条の規定の適用上、「情報」には、特に、国家の安全保障又は核物質の防護に関する情報、知的財産権により保護され又は産業上若しくは商業上の秘密であるものを理由として保護される情報及び個人情報を含む。

2 締約国が、この条約により、情報を提供し、かつ、当該情報が1の規定に従って保護されるべきである旨を明示する場合には、当該情報は、これが提供された目的のためにのみ利用されるものとし、その秘密性は、尊重される。

3 この条約のいずれの規定も、第三条3の規定に基づいてこの条約の対象となる使用済燃料又は放射性廃棄物に関する情報に関し、次の事項について決定する裁量であって締約国が専属的に有するものに影響を及ぼすものではない。

- (i) 当該情報について秘密の指定をするか否か、又は公開されることのないよう他の方法によって規制するか否か。
- (ii) この条約により、(i)の情報を提供するか否か。
- (iii) この条約によって当該情報が提供される場合に秘密の取扱いについていかなる条件を付するか。

放射性廃棄物等安全条約

3. Notwithstanding the provisions of paragraph 2, the secretariat, if compensated, will assume the translation of reports submitted in any other language of the meeting into the designated language.

ARTICLE 36. CONFIDENTIALITY

1. The provisions of this Convention shall not affect the rights and obligations of the Contracting Parties under their laws to protect information from disclosure. For the purposes of this article, "information" includes, inter alia, information relating to national security or to the physical protection of nuclear materials, information protected by intellectual property rights or by industrial or commercial confidentiality, and personal data.

2. When, in the context of this Convention, a Contracting Party provides information identified by it as protected as described in paragraph 1, such information shall be used only for the purposes for which it has been provided and its confidentiality shall be respected.

3. With respect to information relating to spent fuel or radioactive waste falling within the scope of this Convention by virtue of paragraph 3 of Article 3, the provisions of this Convention shall not affect the exclusive discretion of the Contracting Party concerned to decide:

- (i) whether such information is classified or otherwise controlled to preclude release;
- (ii) whether to provide information referred to in sub-paragraph (i) above in the context of the Convention; and
- (iii) what conditions of confidentiality are attached to such information if it is provided in the context of this Convention.

放射性廃棄物等安全条約

4 第三十条の規定に従って開催される各検討会合において締約国が国別報告の検討を行っている間の議論の内容は、秘密とする。

事務局

第三十七条 事務局

1 国際原子力機関（以下この条において「機関」という。）は、締約国の会合のために事務局としての機能を提供する。

2 事務局の任務は、次のとおりとし、機関は、当該任務の遂行中に要した経費をその通常予算の一部として負担する。

(i) 第二十九条から第三十一条までに規定する締約国の会合を招集し、準備し、及びそのための役務を提供すること。

(ii) この条約により受領し又は取りまとめた情報を締約国に送付すること。

3 締約国は、機関に対し、締約国の会合を支援するための他の役務を提供することをコンセンサス方式による決定によつて要請することができる。当該役務の提供は、機関がその計画及び通常予算の範囲内で行うことが可能である場合に限る。ただし、そのような提供が可能でない場合であっても、他の財源から任意の提出が行われるときは、当該役務を提供することができる。

最終条項
その他の
規定

第七章 最終条項その他の規定

第三十八条 意見の相違の解決

この条約の解釈又は適用について二以上の締約国の間で意見の相違がある場合には、締約国は、その意見の相違を解決するため、締約国の会合の枠組みの中で協議する。協議が生産的でない場合には、国際法（国

4. The content of the debates during the reviewing of the national reports at each review meeting held pursuant to Article 30 shall be confidential.

ARTICLE 37. SECRETARIAT

1. The International Atomic Energy Agency, (hereinafter referred to as "the Agency") shall provide the secretariat for the meetings of the Contracting Parties.

2. The secretariat shall:

(i) convene, prepare and service the meetings of the Contracting Parties referred to in Articles 29, 30 and 31;

(ii) transmit to the Contracting Parties information received or prepared in accordance with the provisions of this Convention.

The costs incurred by the Agency in carrying out the functions referred to in subparagraphs (i) and (ii) above shall be borne by the Agency as part of its regular budget.

3. The Contracting Parties may, by consensus, request the Agency to provide other services in support of meetings of the Contracting Parties. The Agency may provide such services if they can be undertaken within its programme and regular budget. Should this not be possible, the Agency may provide such services if voluntary funding is provided from another source.

CHAPTER 7. FINAL CLAUSES AND OTHER PROVISIONS

ARTICLE 38. RESOLUTION OF DISAGREEMENTS

In the event of a disagreement between two or more Contracting Parties concerning the interpretation or application of this Convention, the Contracting Parties shall consult within the framework of a meeting of the Contracting Parties with a view to resolving the

署名、批准、承認及び加入

際原子力機関における規則及び慣行を含む。）に定める仲介、調停及び仲裁を利用することができる。

第三十九条 署名、批准、承認及び加入

- 1 この条約は、千九百九十七年九月二十九日からその効力発生までの期間、ウィーンにある国際原子力機関本部において、すべての国による署名のために開放しておく。
- 2 この条約は、署名国によって批准され、受諾され又は承認されなければならない。
- 3 この条約は、その効力発生の後、すべての国による加入のために開放しておく。
- 4 (i) この条約は、地域的な統合のための機関その他の地域的な機関による署名（確認を得ることを条件とする。）又は加入のために開放しておく。ただし、当該機関が主権国家によって構成され、かつ、この条約の対象となっている事項に関する国際協定の交渉、締結及び適用を行う権限を有する場合に限る。
- (ii) (i)に規定する機関は、その権限の範囲内の事項に関し、当該機関のために、この条約により締約国に帰せられる権利を行使し、及び責任を果たす。
- (iii) 当該機関は、この条約の締約国となる際に、第四十三条に規定する寄託者に対し、当該機関の加盟国、当該機関に適用されるこの条約の条項及びこれらの条項が対象とする分野における当該機関の権限の範囲を示す宣言書を送付する。
- (iv) 当該機関は、その加盟国が有する投票権のほか、いかなる投票権も有しない。

放射性廃棄物等安全条約

disagreement. In the event that the consultations prove unproductive, recourse can be made to the mediation, conciliation and arbitration mechanisms provided for in international law, including the rules and practices prevailing within the IAEA.

ARTICLE 39. SIGNATURE, RATIFICATION, ACCEPTANCE, APPROVAL, ACCESSION

1. This Convention shall be open for signature by all States at the Headquarters of the Agency in Vienna from 29 September 1997 until its entry into force.
2. This Convention is subject to ratification, acceptance or approval by the signatory States.
3. After its entry into force, this Convention shall be open for accession by all States.
4. (i) This Convention shall be open for signature subject to confirmation, or accession by regional organizations of an integration or other nature, provided that any such organization is constituted by sovereign States and has competence in respect of the negotiation, conclusion and application of international agreements in matters covered by this Convention.
- (ii) In matters within their competence, such organizations shall, on their own behalf, exercise the rights and fulfil the responsibilities which this Convention attributes to States Parties.
- (iii) When becoming party to this Convention, such an organization shall communicate to the Depositary referred to in Article 43, a declaration indicating which States are members thereof, which Articles of this Convention apply to it, and the extent of its competence in the field covered by those articles.
- (iv) Such an organization shall not hold any vote additional to those of its Member States.

放射性廃棄物等安全条約

5 批准書、受諾書、承認書、加入書又は確認書は、寄託者に寄託する。

効力発生

第四十条 効力発生

1 この条約は、二十五の批准書、受諾書又は承認書（運転中の原子力発電所を有する十五の国の文書を含むことを要する。）が寄託者に寄託された日の後九十日目の日に効力を生ずる。

2 1に定める条件を満たすために必要とされる最後の文書が寄託された日の後にこの条約を批准し、受諾し若しくは承認し、これに加入し又はこれを確認する国及び地域的な統合のための機関その他の地域的な機関については、この条約は、当該国又は当該機関により適当な文書が寄託者に寄託された日の後九十日目の日に効力を生ずる。

第四十一条 この条約の改正

この条約
の改正

1 締約国は、この条約の改正を提案することができる。改正案は、検討会合又は特別会合において審議される。

2 改正案及び改正の理由は、寄託者に提出されるものとし、寄託者は、この提案を、少なくとも当該提案が審議のために提出される会合の九十日前に、締約国に通報する。寄託者は、当該提案について受領した意見を締約国に送付する。

3 締約国は、改正案の審議の後、コンセンサス方式により当該改正案の採択に係る決定を行うものとし、コンセンサスに達しない場合には、当該改正案を外交会議に送付するか否かを決定する。改正案の外交会議への送付に係る決定には、会合に出席しかつ投票する締約国の三分の二以上の多数による議決を必要とする。この場合において、締約国の少なくとも半数が投票の時に出席していなければならない。

5. Instruments of ratification, acceptance, approval, accession or confirmation shall be deposited with the Depositary.

ARTICLE 40. ENTRY INTO FORCE

1. This Convention shall enter into force on the nineteenth day after the date of deposit with the Depositary of the twenty-fifth instrument of ratification, acceptance or approval, including the instruments of fifteen States each having an operational nuclear power plant.

2. For each State or regional organization of an integration or other nature which ratifies, accepts, approves, accedes to or confirms this Convention after the date of deposit of the last instrument required to satisfy the conditions set forth in paragraph 1, this Convention shall enter into force on the nineteenth day after the date of deposit with the Depositary of the appropriate instrument by such a State or organization.

ARTICLE 41. AMENDMENTS TO THE CONVENTION

1. Any Contracting Party may propose an amendment to this Convention. Proposed amendments shall be considered at a review meeting or at an extraordinary meeting.

2. The text of any proposed amendment and the reasons for it shall be provided to the Depositary who shall communicate the proposal to the Contracting Parties at least ninety days before the meeting for which it is submitted for consideration. Any comments received on such a proposal shall be circulated by the Depositary to the Contracting Parties.

3. The Contracting Parties shall decide after consideration of the proposed amendment whether to adopt it by consensus, or, in the absence of consensus, to submit it to a Diplomatic Conference. A decision to submit a proposed amendment to a Diplomatic Conference shall require a two-thirds majority vote of the Contracting Parties present and voting at the meeting, provided that at least one half of the Contracting Parties are present at the time of voting.

4 この条約の改正を審議し及び採択する外交会議は、3の規定に従って適当な決定が行われた後一年以内に寄託者によって招集される。外交会議は、改正がコンセンサス方式によって採択されることを確保するためあらゆる努力を払う。そのような採択が可能でない場合には、改正は、すべての締約国の三分の二以上の多数による議決で採択される。

5 3及び4の規定に従って採択されたこの条約の改正は、締約国によつて批准され、受諾され、承認され又は確認されなければならない。改正は、少なくとも三分の二の締約国の関係文書を寄託者が受領した後九十日目の日に、当該改正を批准し、受諾し、承認し又は確認した締約国について効力を生ずる。改正は、その後当該改正を批准し、受諾し、承認し又は確認する締約国については、当該締約国が関係文書を寄託した後九十日目の日に効力を生ずる。

第四十二条 廃棄

1 締約国は、寄託者に対して書面による通告を行うことにより、この条約を廃棄することができる。

2 廃棄は、寄託者が1の通告を受領した日の後一年を経過した日又はそれよりも遅い日であつて当該通告において指定されている日に効力を生ずる。

寄託者
第四十三条 寄託者

1 この条約の寄託者は、国際原子力機関事務局長とする。

2 寄託者は、締約国に対し、次の事項を通報する。

(i) 第三十九条の規定によるこの条約の署名及び批准書、受諾書、承認書、加入書又は確認書の寄託

放射性廃棄物等安全条約

4. The Diplomatic Conference to consider and adopt amendments to this Convention shall be convened by the Depositary and held no later than one year after the appropriate decision taken in accordance with paragraph 3 of this article. The Diplomatic Conference shall make every effort to ensure amendments are adopted by consensus. Should this not be possible, amendments shall be adopted with a two-thirds majority of all Contracting Parties.

5. Amendments to this Convention adopted pursuant to paragraphs 3 and 4 above shall be subject to ratification, acceptance, approval, or confirmation by the Contracting Parties and shall enter into force for those Contracting Parties which have ratified, accepted, approved or confirmed them on the ninetieth day after the receipt by the Depositary of the relevant instruments of at least two thirds of the Contracting Parties. For a Contracting Party which subsequently ratifies, accepts, approves or confirms the said amendments, the amendments will enter into force on the ninetieth day after that Contracting Party has deposited its relevant instrument.

ARTICLE 42. DENUNCIATION

1. Any Contracting Party may denounce this Convention by written notification to the Depositary.

2. Denunciation shall take effect one year following the date of the receipt of the notification by the Depositary, or on such later date as may be specified in the notification.

ARTICLE 43. DEPOSITARY

1. The Director General of the Agency shall be the Depositary of this Convention.

2. The Depositary shall inform the Contracting Parties of:

(i) the signature of this Convention and of the deposit of instruments of ratification, acceptance, approval, accession or confirmation in accordance

放射性廃棄物等安全条約

- (ii) 第四十条の規定によりこの条約が効力を生ずる日
- (iii) 前条の規定により行われるこの条約の廃棄及び廃棄の日の通告
- (iv) 第四十一条の規定により、締約国によって提出されたこの条約の改正案、関係する外交会議又は締約国の会合によって採択された改正及びその改正が効力を生ずる日

第四十四条 正文

この条約は、アラビア語、中国語、英語、フランス語、ロシア語及びスペイン語をひとしく正文とし、その原本は、寄託者に寄託される。寄託者は、その認証謄本を締約国に送付する。

末文

以上の証拠として、下名は、正当に委任を受けてこの条約に署名した。

千九百九十七年九月五日にウィーンで作成した。

ARTICLE 44. AUTHENTIC TEXTS

The original of this Convention of which the Arabic, Chinese, English, French, Russian and Spanish texts are equally authentic, shall be deposited with the Depositary, who shall send certified copies thereof to the Contracting Parties.

IN WITNESS WHEREOF THE UNDERSIGNED, BEING DULY AUTHORIZED TO THAT EFFECT, HAVE SIGNED THIS CONVENTION.

Done at Vienna on the fifth day of September, one thousand nine hundred and ninety-seven.

with Article 39;

(ii) the date on which the Convention enters into force, in accordance with Article 40;

(iii) the notifications of denunciation of the Convention and the date thereof, made in accordance with Article 42;

(iv) the proposed amendments to this Convention submitted by Contracting Parties, the amendments adopted by the relevant Diplomatic Conference or by the meeting of the Contracting Parties, and the date of entry into force of the said amendments, in accordance with Article 41.

(参考)

この条約は、使用済燃料及び放射性廃棄物管理の安全を規律する法令上の枠組みを定めること等を締約国に義務付けることにより、使用済燃料及び放射性廃棄物管理の高い水準の安全を世界的に達成し及び維持すること等を目的とするものである。

放射性廃棄物等安全条約